

温かい町、松前町

この町に嫁いできて25年が経とうとしています。
私事で恐縮ですが、先日、県外の大学へ出ていた娘が地元で演奏会を開きました。この演奏会を開くにあたって、この町の友人・知人のみなさんの温かいご支援やご協力をたくさん頂きました。当日は娘の同級生たちもたくさん聴きに来てくださり、終了後はちょっとした同窓会のような感じでした。本当に感謝でいっぱいの想いです。

私にとっては嫁ぎ先だったこの町も娘にとっては生まれ育った故郷であり、私にとってもいつの間にか自分の町になっていました。

気候が穏やかで、とても便利な立地なのにほどほどに田舎で……。何より人があたたかい、いつまでもそんな町であってほしいです。

(S. K)



会長より



新年おめでとうございます！
今年が良い年になるでしょうか。消費税値上げで、日本の財政再建に役に立つのでしょうか。
我々の老後や子供や孫の時代の日本は大丈夫でしょうか。
政治について皆で関心を持ち、身近な地域の議員、藤岡みどりをよろしくお願いたします。

(大西 多美子)



藤岡みどりの

ワクワクレポート



第12号

2014.1.10 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会 会長 大西多美子・松前町議会議員 藤岡 緑
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1

☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131 ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>

謹賀新年



あけましておめでとうございます。

今年は午年。飛び跳ねて一気に山を駆け上るほどの景気回復は望めないかもしれませんが、気持ちだけでも上向きに生きて行きたいと思います。

東北震災からこの春で3年を迎えようとしていますが完全復興にはまだ遠く及ばず、この4月からの消費税値上げ分の一部も復興費用に充てられるようですが、少しでもお役にたてればと願うところです。

さて私の議員活動も二期目の半ばを折り返し、自分一人では到底できないことも住民の皆さんや地域を良くしていこうと思う仲間や支援者の方々の協力の元、成し得たり充実した日々を送れたことに感謝しております。特に防災活動、子育て支援、環境整備活動など今後も皆さんの生活に密着した課題に取り組んでいきたいと考えておりますので、気軽にお声掛け下さい。町政は皆さんの声大切です。 (関連記事はP3)

★主な参加活動記録	
6月	・史談会下見 ・6月定例議会 ・さんかくの会
7月	・総務・産建合同研修 ・市町村議会議員特別研修 ・推薦する会 ・町村議会広報研修
8月	・仙台視察
9月	・9月定例議会 ・広報委員会
10月	・日本女性会議in阿南 ・予算決算常任委員会 ・消防組合議会研修
11月	・四国地区町村議会研修 ・予算決算常任委員会 ・松前町福祉大会
12月	・公民館活動を語る会 ・12月定例議会 ・広報委員会

事務所から、こんにちは

「ある日の事務所内活動風景より…」

広報(議会だより)の原稿締切が迫っている。外はのどかないお天気。午後から打ち合わせの会議が入っている。焦ってくるとパソコンまでいう事を聞いてくれない。イライラしながら文章表現に苦慮していると、ガラガラとドアが開いて、地域のことで相談によく来るおじさんがここに。いつも私の仕事上のヒントを下さる大切なお客さんなんだが、結構話が長いので覚悟が必要(笑)。でも忙しいことはある意味必要とされているわけだから感謝しなくちゃね。この日も何とかギリギリ予定はクリアできたのだった。



(月・水・金) AM9:00~PM5:00
(火・木) AM9:00~正午まで



人気の炊き出しでにぎわうテント内

みどりの催事アルバム



11/4 西高柳文化祭より



コーヒーはいかがですか？

10/26 松前文化祭より



資源ゴミ回収

年4回頑張ってます！

10/15 秋祭りより

写真・動画など、地域活動の記録のお手伝いを

編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。年が明けて想うこと…
毎年のこととして、年が明けて気分一新。今年目標！と気負ってみるが、年末にはやり残した仕事がたくさんあって、とても新しい年を迎えるという気分ではない。

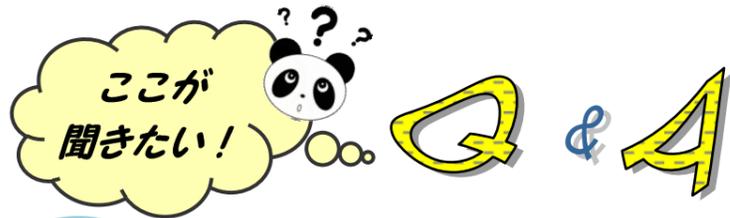
正月は、12月31日から一日がただ進んだだけなのであるが、不思議なことに一連の新年の迎える儀式を経ていつの間にか気分がリセットされていることに気付く。今年こそは！と一念奮起して力むよりは、淡々と一日一日を大事にしながら進んで行くことにしよう。みなさんは、どんな新年をお迎えですか。 (K.I)

メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。





9月

Q 地域防災における備蓄の基本的考えは

A. ペットボトル水や長期保存パン千人分、毛布2百枚などを松前公園体育館2階の備蓄倉庫に保管。災害時には町内3か所の浄水場のタンク水が利用できるよう準備しているが、各家庭における準備も従来の3日間から1週間になると考えてほしい。

(->)住民にとって大切な情報はタイムリーに広報してほしい

★各家庭での非常食の新たな備蓄法「ローリングストック法」を紹介。長期保存が効く缶詰や乾パンなどの非常食をその期間まで食べずに置いておくのではなく日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し常に新しい非常食が備蓄されている状態「食べまわしながら備蓄する」方法。なお消費期限の目安は1年。

これなら各種レトルト食品、フリーズドライ食品など多彩なレパートリーから選択でき、カセットコンロやボンベも備蓄しておくことで常に温かい食事も可能である。



12月

Q 児童虐待予防のための町の対策は

A. 平成17年の法律改正により虐待による児童の早期発見や適切な保護・支援を図る機関として、松前町も要保護児童対策地域協議会を設置した。

県の児童相談所、警察、医師会、教育機関とも連携し虐待の疑いのある時の通報や相談には緊急性に合わせて対応。日常的には乳児の発育状況や環境を見て育児不安や悩みの相談を受け情報提供、助言などを行い、深刻化しない内に発生予防や意識啓発に努めている。

(-o-)おかしと感じるサインを見逃さないで

(*0*) 他の質問は議会だよりまさき町12月号を見てください。



★総務・産建合同研修で販売手伝い 7/1～2 大阪

大阪なんばのダイキビル一階で愛媛県物産展が行われ、松前町もブースを設け珍味や特産のお菓子、麦加工品などを試食販売をしながらお客さんに呼びかけていた。

私たちが松前のロゴマーク入りの白の法被を着て、販売を手伝い応援をした。1週間で、売上トップだったとか。

★今後は生産者の方への取材などを通して、その良さや特色を学び積極的なPR活動につなげていきたいと思った。



★町村議会広報研修 7/29～30



真夏の研修で、丸2日間会館の中で缶詰め状態での研修だった。

広報紙を作る一般的なコンセプトから具体的な文章、デザイン写真、レイアウトなど各専門的な立場からの講習を受け、翌日には事前提出していたこれまでの議会だよりの厳しいクリニックを受けた。

その中で指摘を受けた点を中心に大幅な改善や修正をして、9月号を発行した。その甲斐あってか読者モニターのアンケートからかなりいい評価を頂いた。

★これからもより多くの方に読んでもらえる「議会だより」の発行に努めたいと思った。



私の被災地めぐり

暑い夏、仙台へ友人(防災士仲間)2人と共に地域防災の学習のため3泊4日の旅に出た。

到着後すぐに震度5強の地震の手荒い歓迎を受け、早速仙台郊外の荒浜、閑上地区や仮設住宅を回り、多くの犠牲者の眠る慰霊碑にも手を合わせた。

現地スタッフの案内で翌日には石巻の大川小学校、南三陸防災センター跡地等を回り、津波の脅威、地震の破壊力に驚嘆した。

★減災のために何が必要なのか、この見てきたことをいかに地域の人々に伝え、今後の地域防災に生かすかを考えた。



【南三陸防災センター跡地】

■地域のお困りごとが解決！

文化祭で炊き出しのお手伝いをしていた時だった。地域の方から「道路わきの草や法面の木々が生い茂り、交通面や治安上も危険な感じがする。周りの住民がかなり前から難儀しているのだが、何とかならないのですか？」と相談を受けた。

近所ではあったが、反対側から見る機会もなく気づいていなかった。早速現地で、地域の組長さんと一緒に写真を撮りながら実態把握に努めた。更に付近の住民の困っている点を書面にまとめ、県の道路管轄の係の方に県議から繋いでいただき、相談に行った。

現地の写真と書面を見せながら実情を話すことで、県職員も理解して下さり早速法面の木の伐採と歩道にまで侵食している草木の切り取りを約束してもらった。今後は大きくならないように管理していくという話でまとめ、年度内(年明け早々には)に実行して頂くようになった。～まさに大事な住民からの声掛けから始まった出来事と言えるでしょう～



歩道にまで伸びる草木



森のようになった県道下面の様子(旧出会い橋から西に向けて)

☆伊予消防等事務組合議会で視察研修

(2013. 10. 31～11. 1)

【京都府木津川市 相楽中部消防組合消防本部】

はじめて所属した伊予消防の事務組合で、京都府木津川市にある相楽中部消防組合消防本部を訪ねた。1市2町1村の広域事務組合の運営・活動について学び、はしご車へも2人ずつ、計4人の試乗にも応じて頂いた。

★この組合議会では私一人が女性なので、その視点を大事に活動していきたい。



☆「日本女性会議2013あなん」 (10/11～12)

今回は同じ四国で行われた会議だが、人口8万人の地方都市で開催する苦勞が垣間見えた大会だった。

分科会は防災に関するもの、全体会では内閣府の男女共同参画部局の活動内容や指針について特に女性の幹部候補、管理職比率を上げる目標数値、その対策等興味深いテーマを勉強することができた。

★今後の一般質問に生かしていきたい。

